

# SPUI

[シュプール]

2

FEBRUARY 2007  
定価650yen

http://  
対談 / ソフィア・コ  
「マリー・アントワネット」を

'07春夏ワールド・  
コレクションで  
欲しいものの速報

靴&バッグ 次は絶対  
これが来ます

人気バイヤーが  
「理由あって買いつけた」  
春もの

モデル・スナップ Part 2  
ああ可愛い! イリナ、ヒラリー、シャネルちゃん。

モデル担当の  
秘取材メモお見せします

とじ込み保存版  
モード、カルチャー、ナイトスポット……  
東京の顔の多面体ガイド

もっともっと  
青山マニア

別冊付録  
資生堂 ザ・メーカー  
春のメイクアップはBe Playful

ファッション

## NEW YORK

### ナン・ケンプナーのスタイルを回顧する

Text Teruyo Mori

スタイリッシュなNYソーシャライズとして社交界のディーヴァとして半世紀以上も君臨し、サンローランのミューズとしても知られたナン・ケンプナー夫人のスタイルがメトロポリタン美術館服飾研究所で開かれている。

ナンは如のドレスを着るのではなく、自分流のスタイルで着こなしたことからグリーンランドをして「アメリカで唯一のシックな女性」と賞わした。少女時代に絶倫に悩んだことからダイエットが始まり、2005年に亡くなるまで身長175cm、体重45kgを維持。おかげで、オートクチュールのモデル・サンプルを1万ドルで買うことができたといわれ、驚きのドレスは250着を超えている。NYソーシャライズのスタイルの神髄がうかがえる貴重な展覧会だ。

- 1 イヴ・サンローラン作 イブニングアンサンブル(1983年)
- 2 ヴァレンティノ作 イブニングドレス(1984年)
- 3 イヴ・サンローラン作 イブニングアンサンブル(1983年)

4 ケンプナーは1930年、サンフランシスコの裕福な華のディーラーの家に生まれる。50年代にパリのディオールのクチュールシエを経て以来、ファッション中核が詰まったという、サンローランのミューズとも呼ばれた。  
photo:Wifreimag.com

#### [Nan Kempner's Chic]

Metropolitan Museum of Art's Costume Instituteにて2007年3月4日まで開催。  
●1000 5th Ave. NYC 電話:212-535-7710  
※開館30分〜17時30分、  
〜21時(土・日)  
※月曜、クリスマス、1月1日



店「僕は男性」という名の香水ボトル  
(上) マレ地区にオープンしたブティックは、ショップというよりラボラトリー。  
Etat Libre d'Orange  
●69 rue des Archives 75003 Paris  
☎01 42 79 30 09 夜12時〜19時30分  
※日・月・祝日 www.etatlibredorange.com

イッシュ&カーの最近の仕事。  
(左) 新雑誌「イコノフライ」  
2号目のグラフィックな表紙。  
この雑誌は靴、バッグ、時計、  
ジュエリー、など小物が専門  
(右)「お香とバブルガム」  
という香水のシンボルマーク

## PARIS

### イッシュ&カーがコラボ、アヴァンギャルドな香水

Text Minako Harimoto

新しいコンセプトの香りブランドが誕生した。その「エタ・リーブル・ドランジュ」。試すと「オレンジジュ」の原料、花栽培の中心地として知られるプロヴァンスの村の自由なマインドの意。香水業界マーケティングタブーを破り、感性を表現しようというモットーだ。イッ人はペットのためのフレグランス「オー・マイ・ドッグ」で知られるエティエンヌ・ドゥ・スワルト、挑発的な発名前の3つの香りを創ったネ (調香師) たちはアルマ「コード」、グッチ「ラッシュ」、バーバリー「ブリット」で成功した3人。エロティックな意味合いをもつ香りには、グラフィックデザイナー・デュオ、イッシュ&カーによるシンボルマークで、ユーモラスに仕上がった。ポモダンな「ブドワール」スタイルのブティックには、新たに4つの香りのキャンドルも加わった。



## MILAN

### トルトーナ地区にデザインホテルが誕生

Text Magumi Takahashi

アルマーニのテアトロをはじめ、ファッション関係のショールームが林立して注目を浴びるトルトーナ地区に、デザインホテル「Nhow」がオープン。巨大な工場跡を利用してレストアした。建築はミラノの最先端クラブを多数手がけているダニエレ・ベレッタ。インテリアデザインは、業界の寵児、マテオ・トゥンによる。ミニマルなテクノのインテリア。スワロフスキーのキラキラ輝くソファもある。「従来のラグジュアリー・スタンダードを超えるデザインホテル」がコンセプトだけあって、館内施設もひと味違う。12月末オープン予定のNhowスイートは400㎡もある2階建て。上階のプライベートプールの透明な床が下階のリビングルームの天井になっているという遊び心ある設計。春には、熱くならない人造雪ホワイトサンドが敷き詰められたビーチがテラスに出現する予定だ。



高級感あふれる素材を使ったミニマルな空間に、イタリアンデザインの家具を配置。コンベンションルームでは、すでにファッションや建築関係のイベントが多数開催されている。ラウンジではアートインスタレーションや写真展などを続々開催。アートスペースとしても注目されている

Nhow ● Via Tortona, 35 Milano 電話:02-4259961  
www.nhow-hotels.com ミラノ中心からタクシーで約15分。  
料金/アイン:€157 (朝食付き)

